

報道関係者各位

ニュースリリース

2013年7月29日

特定非営利活動法人 Check

<http://www.checkatoilet.com/>

NPO 法人 Check、芦花高校 17 名の生徒とスマホを使った奉仕体験授業を開催

調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！

～ Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？ ～

みんなでつくるユニバーサルデザイントイレマップ「Check A Toilet
(<http://www.checkatoilet.com/>)」を運営する特定非営利活動法人 Check
(本社：東京都世田谷区、代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check) は、
東京都立芦花高等学校（東京都世田谷区、校長：山下敬緯子、以下、芦花高校
）とスマートフォンを使った奉仕体験授業

「調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！
～Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？～」を、8月5日・22日の
2日間、行うことになりました。

■背景

花火大会、お祭り、海水浴場などの野外イベントで、必ず起きるのがトイレ問題。イベント会場付近のトイレは長蛇の列ができ、健常者でさえもトイレを探すことに大変苦労します。

一方、イベント主催者にとって、数時間・数日のイベントのために、バリアフリー情報を公開する（予算を付ける）ことは容易ではありません。そのため、多機能トイレを利用する高齢者・障がい者・子育て中のパパママにとって、イベントは参加しづらい・参加を諦めることがあります。



■ 芦花高校 1年生の奉仕体験授業とは

芦花高校の奉仕体験授業は、1年生が参加する授業として、保育園や地域の NPO の協力を得て 2007 年から行われています。地域で活動する様々な団体（NPO・ボランティア）と連携して、夏休みを中心に、生徒が体験活動を選んで参加するスタイルになったのは 2011 年からです。

今年度、NPO 法人 Check は初めて参加することとなりました。

今回の奉仕体験授業は、高齢者・障がい者・子育て中のパパママが安心して、調布市花火大会を観覧いただくための地域貢献授業で、
「調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！
～Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？」をテーマに、
8月 5 日・22 日の 2 日間、授業を行います。事前授業とスマートフォンを使った
実地活動の後、Twitter を活用して、調布市花火大会のトイレマップを広める
アクションをしていただきます。

☆日程☆

第 1 回 8 月 05 日 (月) 15:00～17:00 @芦花高校

事前授業：なぜ、トイレが必要か？、スマホの使い方、エリアのルート決め等

第 2 回 8 月 22 日 (木) 9:00～11:00, 13:00～17:00

午前：実地活動 @調布駅周辺

午後：Twitter を活用した授業 @芦花高校

※講師：NPO 法人 Check 代表理事 金子健二

※取材ポイント（事前授業、実地活動：スマホを活用した授業、Twitter を使った授業）

◇開催場所

東京都立芦花高等学校：東京都世田谷区粕谷 3-8-1 / 調布駅 周辺

◇参加者

東京都立芦花高等学校 1 年生 17 名、NPO 法人 Check 関係者

◇取材のお申込は下記まで、

TEL : 080-4162-4550 メール : report@checkatoilet.com 担当 : 金子

特定非営利活動法人 Check <http://www.check.or.jp/>

代表理事：金子健二

事業体：特定非営利活動法人（NPO 法人）

事業内容：

- (1) トイレマップ制作を通じての市民活動支援事業
 - (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業
 - (3) 社会貢献活動に関する普及啓発事業
-

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。